

立神峡里地公園だより

ゴールデンウィークイベント情報

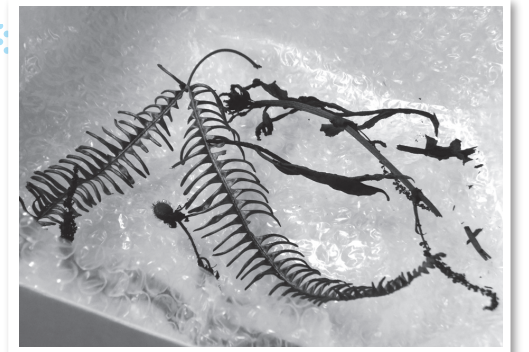
立神峡公園は新緑の美しい時期になりました。ポカポカ陽気に誘われて自然の中でゆっくりとした時間を過ごしませんか？

野外料理を楽しもう「簡単!ピザ作り!」



日 時：5月3日(金) 10:30~14:00(雨天決行)
場 所：火の広場横 炊事棟
対 象：募集の参加者および来園者(どなたでも)
定 員：15組
参加費：1,000円(材料、薪(炭)、保険、指導料など)
服 装：火を使いますので長袖・長ズボンをお願いします。
準備品：トッピング材料(トマトソースとチーズ以外のもの)・タオル・軍手

花炭(草花や木の実で作った炭)製作体験



▲シダの葉の花炭

日 時：5月3日(金)・4日(土) 11:00~12:00(雨天決行)
場 所：火の広場横 炊事棟
対 象：募集の参加者および来園者
(どなたでも・定員になり次第参加締め切り)
定 員：3組(20人程度)
参加費：500円(薪・指導料含む)
服 装：火を使いますので長袖・長ズボンをお願いします。
準備品：もち帰り用紙箱・タオル・軍手

フットパス(こみちを歩こう)モニターウォーキング

フットパスとは“昔ながらのこみちを楽しみながら歩く”ウォーキングのことです。
1月から担当職員が毎日散策してコース探しをしています。今回は、皆様のご意見をお聞きしたく立神峡公園近辺を1時間程度散策するモニターウォーキングを開催します。

日 時：5月4日(土)・5日(日) 10:00~11:00
場 所：立神峡公園一帯
対 象：小学生以上
定 員：5人
参加費：無料
服 装：気温によって調整できるもの
準備品：飲料水・タオル・帽子

いろいろな紐の結び方

知っている便利な紐の結び方など、実践で体験!
日 時：5月5日(日) 9:00~15:00
場 所：龍神橋(吊橋)そばのウッドデッキ
対 象：小学生以上
定 員：随時受付
参加費：無料

もやい結び



お問い合わせ・お申し込み先
立神峡公園管理組合 ☎62-1543 tategamikyoo@yahoo.co.jp (8:30~17:30 火曜定休日)

町民文芸

短歌

長生きは国家の負担さりなれど
苦痛こらえて大腸検査
法道寺 本田 花風

ヨサコイのはりまやばしてこの吾は
銘菓のかんざし買い求めたり
北野津 宮本 末秋

桜咲く氷川まつりに高塚は
歌にふりつけランドゴルフ
高塚 桑原ゆき代

旅の帰路眠りを誘ふバスの中
花トンネルに歓声挙がる
吉本 高橋 澄子

助・格と共に黄門氷川町
笑顔満開老も集いて
西野津 古崎スエノ

日を重ね月を重ねし年重ね
復興の光東北の地に
南鹿野 尾崎 京子

繚乱に遠く及ばぬ我が庭も
それなり春の装いとなる
吉本 橋村 正之

俳句

お隣の庭より聞ゆ小鳥達の
歌ふ美声に朝の清し
西野津 古崎 栄子

接ぎ木してソメイ吉野十五年
今日は花見の寺の庭かな
高塚 竹中 力

盟友逝きて無常の風のきびしさよ
冥界への道ひと刷の雲
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

見渡すも鯉の泳がぬ五月空
北野津 宮本 末秋

しいたけやわらべの香り友のいて
高塚 桑原ゆき代

さくら花散らし小鳥の枝移り
吉本 高橋 澄子

桜祭まで散らずにくれて有りがとう
西野津 古崎スエノ

春陽受け千し大根の匂ひあり
南鹿野 尾崎 京子

風に落つ道に花咲くさくらかな
西野津 古崎 栄子

高圧線越へて天草春霞
町 香山菊童子

炭点すすすみて炉端暖かく
町 香山セツ子

替え歌(浪曲子守唄)

吉本 橋村 正之

逃げた女房よ戻っておくれ
お乳欲しがる此の子の為に
子守唄など唄えぬけれども
俺の得意の浪曲節
聞いて良い子だネンネしな

土方渡世の俺等が惚れて
口説き落として女房にしたが
飯場暮らして嫌気が差したか
或る日突然どこえやら
此の子残して消え失せた

どこか似てるが他人の空似
噂頼りに尋ねて来たら
重い心を引きずりながら
帰る背中の子がぐぜる
俺が泣きたい日暮れ道

竹の子を薪でゆがいて妻の声
高塚 竹中 力

こだわりを解くが如くに連開く
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

蹲いに音なく現れて春の鳥
桜ヶ丘 吉田 照子

息災に一日去りゆく若葉風
町 田中 澄子

風さそう紫紺の藤にわらべ声
桜ヶ丘 宮崎トシ子

青春の輝き【前編】

法道寺 本田 花風

「青年の髪／数知れず／微かなる帆
柱の振るえつつ／夏来る」
この詩に出会ったのは二十代の前半、青春を語るにこの詩以上のものはない。
吉行理恵、詩人、芥川賞作家の短編の詩。

青年の象徴を短い行間にはとばしるように詩に込められている。脳裏にとどめ忘れることはなかった。時が経ち「振るえつつ」が「増えつつ」でなかったか疑念が生じ、間違いないと信じつつ、理恵さんに確認しなければとの思いが募るばかり。出版社を始めメディアというメディアに徹底的に電話を掛けまくり消息を調べた。所詮一民間人には叶わぬ願いが思いがけないことにあるテレビ局が、兄淳之介の電話なら分かると言ってくれた。こちらでも手練手管の交渉を尽くした成果がついに出了。勇んで掛けた電話機のダイヤルは力がこもった。

【次号、後編へ続く】

投稿いただきました作品は、短歌・俳句それぞれ一句とします。必要な場合は、ルビを付けてください。
また、確認のためお電話することもありますので、連絡先の記入をお願いします。